



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和6年度

八代平野農業水利事業

北新地排水解析業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
八代平野農業水利事業所

















事業名	八代平野農業水利事業					
業務名	北新地排水解析業務					
業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	主任技師 主任技師		人	66,900		歩A・単A
S02115	技師(A) 技師(A)		人	59,600		歩A・単A
S02115	技師(B) 技師(B)		人	48,500		歩A・単A
S02115	技術員 技術員		人	36,100		歩A・単A
S63003	1-1 資料の収集・検討 設計労務(直接人件費内業)		式	820,900		歩A・単A
S63003	2-1 流出解析モデルの作成 設計労務(直接人件費内業)		式	1,062,000		歩A・単A
S63003	2-2 排水出解析モデルの作成 設計労務(直接人件費内業)		式	1,628,500		歩A・単A
S63003	3 現況排水解析の実施 設計労務(直接人件費内業)		式	685,700		歩A・単A
S63003	4 水位・流速計データの整理 設計労務(直接人件費内業)		式	713,600		歩A・単A
S63003	5-1 設計計画 設計労務(直接人件費内業)		式	2,944,270		歩A・単A
S63003	5-2 仮設計画・施工計画 設計労務(直接人件費内業)		式	1,141,090		歩A・単A
S63003	5-3 設計図面・数量計算 設計労務(直接人件費内業)		式	1,730,590		歩A・単A
S63003	5-4 概算工事費 設計労務(直接人件費内業)		式	510,080		歩A・単A
S63003	6 照査 設計労務(直接人件費内業)		式	200,700		歩A・単A
S63003	7 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	950,000		歩A・単A
S63007	1-2 現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	525,000		歩A・単A
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.22日		回	91,080		歩A・単A
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.22日		回	77,832		歩A・単A
S63011	打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,2時間		回	4,292		歩A・単A
S63011	打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,2時間		回	4,292		歩A・単A
S63018	旅費交通費(設計外業日帰用) 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,3日,2時間		式	11,458		歩A・単A



事業名	八代平野農業水利事業
業務名	北新地排水解析業務

業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
	合計				66,900	算出数量 1.000 人
	単価				66,900	
*** S単 - 2号 ***						
S02115	技師(A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師(A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
	合計				59,600	算出数量 1.000 人
	単価				59,600	
*** S単 - 3号 ***						
S02115	技師(B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師(B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師(B)	1.000	人	48,500	48,500	
	合計				48,500	算出数量 1.000 人
	単価				48,500	
*** S単 - 4号 ***						
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				36,100	算出数量 1.000 人
	単価				36,100	
*** S単 - 5号 ***						
S63003	1-1 資料の収集・検討		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				

事業名	八代平野農業水利事業					
業務名	北新地排水解析業務					
業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04003	主任技師	4.000	人	66,900	267,600	
R04004	技師(A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
	合計				820,900	算出数量 1.000 式
	単価		式		820,900	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	2-1 流出解析モデルの作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	6.000	人	48,500	291,000	
R04006	技師(C)	6.000	人	40,300	241,800	
R04007	技術員	6.000	人	36,100	216,600	
	合計				1,062,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,062,000	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	2-2 排水出解析モデルの作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	10.000	人	48,500	485,000	
R04006	技師(C)	10.000	人	40,300	403,000	
R04007	技術員	10.000	人	36,100	361,000	
	合計				1,628,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,628,500	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	3 現況排水解析の実施		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				

事業名	八代平野農業水利事業
業務名	北新地排水解析業務

業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	119,200
R04005	技師(B)		4.000	人	48,500	194,000
R04006	技師(C)		4.000	人	40,300	161,200
R04007	技術員		4.000	人	36,100	144,400
	合計				685,700	算出数量 1.000 式
	単価			式	685,700	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	4 水位・流速計データの整理 設計労務(直接人件費内業)			式	1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	1.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	4)技師Aの人数	2.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				深夜時間:0.0
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	119,200
R04005	技師(B)		3.000	人	48,500	145,500
R04006	技師(C)		5.000	人	40,300	201,500
R04007	技術員		5.000	人	36,100	180,500
	合計				713,600	算出数量 1.000 式
	単価			式	713,600	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	5-1 設計計画 設計労務(直接人件費内業)			式	1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	6.80人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	4)技師Aの人数	14.40人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	14.20人				
	6)技師Cの人数	13.80人				
	7)技術員の人数	10.70人				深夜時間:0.0
R04003	主任技師		6.800	人	66,900	454,920
R04004	技師(A)		14.400	人	59,600	858,240
R04005	技師(B)		14.200	人	48,500	688,700
R04006	技師(C)		13.800	人	40,300	556,140
R04007	技術員		10.700	人	36,100	386,270
	合計				2,944,270	算出数量 1.000 式
	単価			式	2,944,270	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	5-2 仮設計画・施工計画 設計労務(直接人件費内業)			式	1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
						豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
						基本給時間:8.0 超勤時間:0.0

事業名	八代平野農業水利事業
業務名	北新地排水解析業務

業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師の人数	2.90人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.90人				
	5)技師Bの人数	4.20人				
	6)技師Cの人数	5.60人				
	7)技術員の人数	4.60人				
R04003	主任技師		人	66,900	194,010	
R04004	技師(A)	5.900	人	59,600	351,640	
R04005	技師(B)	4.200	人	48,500	203,700	
R04006	技師(C)	5.600	人	40,300	225,680	
R04007	技術員	4.600	人	36,100	166,060	
	合計				1,141,090	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,141,090	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	5-3 設計図面・数量計算		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.10人				
	5)技師Bの人数	7.90人				
	6)技師Cの人数	10.70人				
	7)技術員の人数	16.00人				
R04003	主任技師	2.300	人	66,900	153,870	
R04004	技師(A)	3.100	人	59,600	184,760	
R04005	技師(B)	7.900	人	48,500	383,150	
R04006	技師(C)	10.700	人	40,300	431,210	
R04007	技術員	16.000	人	36,100	577,600	
	合計				1,730,590	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,730,590	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	5-4 概算工事費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.40人				
	5)技師Bの人数	3.60人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	1.40人				
R04004	技師(A)	1.400	人	59,600	83,440	
R04005	技師(B)	3.600	人	48,500	174,600	
R04006	技師(C)	5.000	人	40,300	201,500	
R04007	技術員	1.400	人	36,100	50,540	
	合計				510,080	算出数量 1.000 式
	単価		式		510,080	
	*** S単 - 14号 ***					
S63003	6 照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	八代平野農業水利事業					
業務名	北新地排水解析業務					
業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	66,900	200,700	
	合計				200,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		200,700	
	*** S単 - 15号 ***					
S63003	7 点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		4.000	人	66,900	267,600	
R04004	技師(A)					
		4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)					
		5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師(C)					
		5.000	人	40,300	201,500	
	合計				950,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		950,000	
	*** S単 - 16号 ***					
S63007	1-2 現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業					
		3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A) 外業					
		3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B) 外業					
		3.000	人	48,500	145,500	
	合計				525,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		525,000	
	*** S単 - 17号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.22日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.220日				

事業名	八代平野農業水利事業					
業務名	北新地排水解析業務					
業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04003	主任技師	0.720	人	66,900	48,168	
R04004	技師(A)	0.720	人	59,600	42,912	
	合計				91,080	算出数量 1.000回
	単価		回		91,080	
	*** S単 - 18号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工程,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.22日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工程		一般工程	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ		中間	深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.220日				
R04004	技師(A)	0.720	人	59,600	42,912	
R04005	技師(B)	0.720	人	48,500	34,920	
	合計				77,832	算出数量 1.000回
	単価		回		77,832	
	*** S単 - 19号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工程・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工程		一般工程・解析等調査業務	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ内容		着手前・最終	深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.22日				
	9)宿泊区分		通勤により打合せ			
	10)交通機関区分		ライトバン			
	11)高速道路往復料金(税別)	1,800円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	2時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金		式	1,800	1,800	
M28121	ライトバン[ガソリン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	156	842	
	合計				4,292	算出数量 1.000回
	単価		回		4,292	
	*** S単 - 20号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工程・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工程		一般工程・解析等調査業務	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ内容		中間	深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				

事業名	八代平野農業水利事業					
業務名	北新地排水解析業務					
業務別業務名:北新地排水解析業務(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.22日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金(税別)	1,800円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	2時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1.000	式	1,800	1,800
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		1.000	日	1,650	1,650
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		5.400	L	156	842
	合計				4,292	算出数量 1.000 回
	単価			回	4,292	
	*** S単 - 21号 ***					
S63018	旅費交通費(設計外業日帰用) 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,3日,2時間			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	1)交通機関区分	ライトバン				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)高速道路往復料金(税別)	1,327円				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				深夜時間:0.0
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	3日				
	8)時間区分	2時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	3.000日				
	11)設計用技師A外業日数	3.000日				
	12)設計用技師B外業日数	3.000日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		3.000	式	1,327	3,981
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		3.000	日	1,650	4,950
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		16.200	L	156	2,527
	合計				11,458	算出数量 1.000 式
	単価			式	11,458	
	*** S単 - 22号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 1000, 10cm, 0			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	1)報告書部数(部)	1.000				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)規格区分	A - 4				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)枚数区分(枚)	1000				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)厚さ区分	10cm				深夜時間:0.0
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				超勤時間:0.0
P43504	報告書焼付代(コピー) A - 4 以下 1000枚		1.000	部	12,700	12,700
P43544	簡易加除式ファイル A 4縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)		1.000	冊	789	789
P43602	C D - R C D - R(記録面色素フタロシアニン)700MB		0.000	枚	47	0
	合計				13,489	算出数量 1.000 式
	単価			式	13,489	



令和6年度八代平野農業水利事業  
北新地排水解析業務

特別仕様書

九州農政局八代平野農業水利事業所

## 第1章 総 則

### 第1-1条 (適用範囲)

令和6年度八代平野農業水利事業北新地排水解析業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「設計共通仕様書」という。)及び「地質・土質調査業務共通仕様書」(以下、「調査共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1-2条 (目的)

本業務は、国営八代平野土地改良事業計画に基づき、八代平野北部地域における各排水施設整備後の排水効果を検証するため、排水解析モデルの構築及び現況排水解析を行うとともに、構築したモデルの調整に必要な排水関連施設の整備計画の検討及び地質調査等を行うものである。

### 第1-3条 (場所)

本業務の対象地域は、熊本県八代市及び八代郡氷川町地内で、別添位置図に示すとおりである。

### 第1-4条 (土地への立ち入り等)

作業実施のための土地の立ち入り等は、設計共通仕様書第1-16条、調査共通仕様書第1-15条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

なお、現地の立ち入りにあたっては、監督職員と連絡を取った後、作業に着手するものとする。

### 第1-5条 (一般事項)

業務請負契約書、設計共通仕様書及び調査共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
3. ボーリング調査位置は、別添施工位置図のとおりである。なお、詳細については監督職員と現地立ち会いのうえ決定する。
4. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は、速やかにこれに応じるものとする。

### 第1-6条 (管理技術者)

管理技術者は、設計共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博 士	農 学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

### 第1-7条（照査技術者）

1. 照査技術者は、設計共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博 士	農 学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書（案）」（以下「照査手引書」という。）に基づき実施する。

また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、設計共通仕様書第1-7条第5項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

### 第1-8条（担当技術者）

担当技術者は設計共通仕様書第1-8条によるものとする。

### 第1-9条（配置技術者の確認）

設計共通仕様書第1-11条及び調査共通仕様書第1-10条における業務組織計画の作成、設計共通仕様書第1-12条及び調査共通仕様書第1-11条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

2. 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）への技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

### 第1-10条（保険加入）

受注者は、設計共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

### 第2-1条（適用する図書）

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書を優先し、設計時点の最新のものをを用いることとする。設計作業中に改訂された場合や他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発行所
1	土地改良事業計画設計基準 計画 「排水」	農林水産省
2	土地改良事業計画設計基準 設計 「ポンプ場」	(公社)農業農村工学会
3	土地改良事業計画設計基準 設計 「水路工」	(公社)農業農村工学会

## 第2-2条（現地作業条件）

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

1. 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打ち合わせを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
2. 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する場合は、受注者の責任において処理しなければならない。
3. 作業上支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議する。

## 第2-3条（設計条件）

設計作業における設計条件は、次のとおりである。

- ・検討範囲（北部エリア排水受益）：2,658ha

## 第2-4条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、設計共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。  
また、最新版を用いるものとする。

番号	名 称	発行所
1	国土交通省河川砂防技術基準 同解説	(社)日本河川協会
2	工作物設置許可基準	(財)国土技術研究センター

## 第2-5条（貸与資料）

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	国営八代平野土地改良事業計画書及び計画参考資料	1式
2	平成27年度地区調査 八代平野地区排水計画検討業務 報告書	1部
3	平成28年度地区調査 八代平野地区排水計画策定業務 報告書	1部
4	平成28年度地区調査 八代平野地区排水施設設計業務 報告書	1部
5	平成29年度地区調査 八代平野地区排水計画等補足業務 報告書	1部
6	平成30年度八代平野農業水利事業 北新地排水機他調査測量業務 報告書	1部
7	平成30年度八代平野農業水利事業 北新地排水機場基本設計業務 報告書	1部
8	令和元年度八代平野農業水利事業 北新地排水機場（土木施設）実施設計業務 報告書	1部
9	令和元年度八代平野農業水利事業 北新地排水機場（施設機械）実施設計業務 報告書	1部
10	令和2年度八代平野農業水利事業 鮎鱈川排水路測量業務 報告書	1部
11	令和3年度八代平野農業水利事業 北新地排水機場樋門樋管設計その他業務 報告書	1部
12	令和3年度八代平野農業水利事業 分散排水路調査測量設計業務 報告書	1部
13	令和3年度八代平野農業水利事業 鮎鱈川排水路測量業務 報告書	1部
14	令和3年度八代平野農業水利事業 七百町新地樋門調査測量設計 報告書	1部
15	令和5年度八代平野農業水利事業 排水計画調査検討業務 報告書	1部
16	令和4年度八代平野農業水利事業 鮎鱈川排水路基本設計業務 報告書	1部
17	地区内水位計観測データ	1式

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

## 第2-6条（参考図書及び貸与資料の取り扱い）

第2-4条、第2-5条に示す参考図書及び貸与資料の取り扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、設計作業時点の最新版を用いることとし、設計作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

## 第2-7条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

番号	業務名	業務実施期間
1	令和6年度八代平野農業水利事業 鮎鯨川排水路設計業務（仮称）	令和7年10月 ～令和8年3月（予定）

## 第3章 作業内容

### 第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は以下に示すものとする。

#### 1. 設計作業

詳細は別紙「作業項目内訳表」のとおりである。

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 排水解析モデルの構築	1式	
3. 現況排水解析の実施	1式	
4. 水位・流速計データの整理	1式	
5. 排水関連施設の整備計画検討	1式	
6. 照査	1式	
7. 点検とりまとめ	1式	

#### 2. 地質調査

【機械ボーリング：φ66、オールコア、鉛直下方】

単位：m

孔番	粘性土	砂質土	礫混じり土 砂	計	仮設足場
R7-鮎鯨-1	15.0	12.0	15.0	42.0	平坦足場
R7-鮎鯨-2	5.0	5.0	-	10.0	平坦足場
R7-鮎鯨-3	5.0	5.0	-	10.0	平坦足場

【機械ボーリング：φ86、ノンコア、鉛直下方、サンプリング】

単位：m

孔番	粘性土	砂質土	礫混じり土 砂	計	仮設足場
R7-鮎鯨-1'	6.0	-	-	6.0	平坦足場

	シンウォールサンプリング			1本	-
R7-鮫鱈-2'	6.0	-	-	6.0	平坦足場
	シンウォールサンプリング			1本	-

【標準貫入試験】

単位：回

孔番	粘性土	砂質土	礫混じり土 砂	計
R7-鮫鱈-1	15	12	15	42
R7-鮫鱈-2	5	5	-	10
R7-鮫鱈-3	5	5	-	10

【土質試験】

単位：資料

孔番	土粒子の 密度試験 JIS A1202	含水比 試験 JIS A1203	粒度試験 (フル+沈 降)	液性限界 試験 JIS A1205	塑性限界 試験 JIS A1205	圧密 試験 JIS A1225	三軸圧縮 試験 JIS 0522 2009
R7-鮫鱈-1	1	1	1	1	1	1	1
R7-鮫鱈-2	1	1	1	1	1	1	1
R7-鮫鱈-3	1	1	1	1	1	-	-

3. 解析等調査業務

作業項目	数量	規格区分
既存資料の収集・現地調査	1業務	解析等調査業務費
資料整理取りまとめ	1業務	解析等調査業務費、一般調査業務費
断面図等作成	1業務	解析等調査業務費、一般調査業務費
総合解析とりまとめ	1業務	解析等調査業務

第3-2条（作業の留意点）

1. 設計業務の留意点

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-1条、第2-4条、第2-5条及び設計共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 3. 第3-1条1の作業項目2. 排水解析モデルの構築について、作業項目4. 水位・流速計データの整理結果をもとに、排水解析モデルの検証を追加することがある。  
また、事業完了後の計画排水解析についても追加することがある。

2. 地質調査の留意点

(1) ボーリング調査

ボーリング調査については、サンプリング孔及び標準貫入試験区間を除きオールコアリングとし、調査方法は調査共通仕様書第3-3条に基づくものとする。

(2) 標準貫入試験

標準貫入試験は、別表に示す対象調査孔の地表面より1m毎に実施するものとする。ただ

し、舗装部は除くものとする。

なお、試験方法は、共通仕様書第 5-3 条に基づくものとする。

### (3) 土質試験

採取した試料の土質試験は、特に定めがない限り調査共通仕様書第 11-1 条によるものとするが、詳細については、地盤材料試験法及び監督職員の指示による。

### (4) ボーリング成果

ボーリング成果は、調査共通仕様書第 1-17 条に基づき、地盤情報を別途定める検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けた上で、発注者が指定する地盤情報データベースに登録しなければならない。

なお、検定の申込にあたり、地盤情報の公開・利用の可否について、発注者と協議を行うこととする。

## 第 3-3 条（業務の成果品質確保対策）

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」（農水省WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

### 1. 業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

(1) 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については、変更する場合がある。

- ①設計条件・前提条件、②業務計画の妥当性、③スケジュール、④設計変更内容
- ⑤その他：事業間連携等

(2) 会議の開催については、監督員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

### 2. 合同現地踏査

管理技術者・担当技術者並びに事業所長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、必要に応じて合同で現地踏査を行うことにより、設計条件や施工の留意点、関連事業の情報、設計方針の明確化等、情報共有を図る。

### 3. 照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外であっても、必要に応じて照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

### 4. 打合せ記録簿

業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

## 第 3-4 条（業務写真における黑板情報の電子化）

黑板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黑板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黑板情報の電子化を行うことができる。

黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

#### 1. 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

#### 2. 機器等の導入

(1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

(2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

#### 3. 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

(1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

(2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

(3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

#### 4. 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL ([https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac\\_auth.php](https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php)) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

#### 5. 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条（打合せ）

設計共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（排水解析モデルの検討段階）

第3回 中間打合せ（現況排水解析の実施段階）

第4回 中間打合せ（排水関連施設の整備計画検討段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

## 第5章 成果物

### 第5-1条（成果物）

成果物を設計共通仕様書第 1-17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体 (CD-R 等) 正副 2 部
2. 成果物の出力 1 部 (電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については、別途監督職員の指示によるものとする。

#### 第 5-2 条 (開示用成果物の作成及び提出)

第 5-1 条に記載している成果物(PDF ファイル)に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

1. 開示用成果物の電子媒体(CD-R 等) 1 部

なお、「不開示情報」とは、別表のとおりである。

#### 第 5-3 条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県八代市日置町 1 7 1-1

九州農政局八代平野農業水利事業所

### 第 6 章 業務管理

#### 第 6-1 条 (情報共有システム)

1. 情報共有システムの業務について

- 1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- 2) 情報共有システムは「工事及び業務の情報共有システム活用要領」(農林水産省 Web サイト参照)によるものとする。
- 3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

### 第 7 章 契約変更

#### 第 7-1 条 (契約変更)

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第 2-2 条、第 2-3 条に示す「作業条件等」に変更が生じた場合。
- (2) 第 3-1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 第 4-1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 第 5-1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (5) 履行期間の変更が生じた場合。
- (6) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (7) その他

## **第8章 定めなき事項**

### **第8-1条 (定めなき事項)**

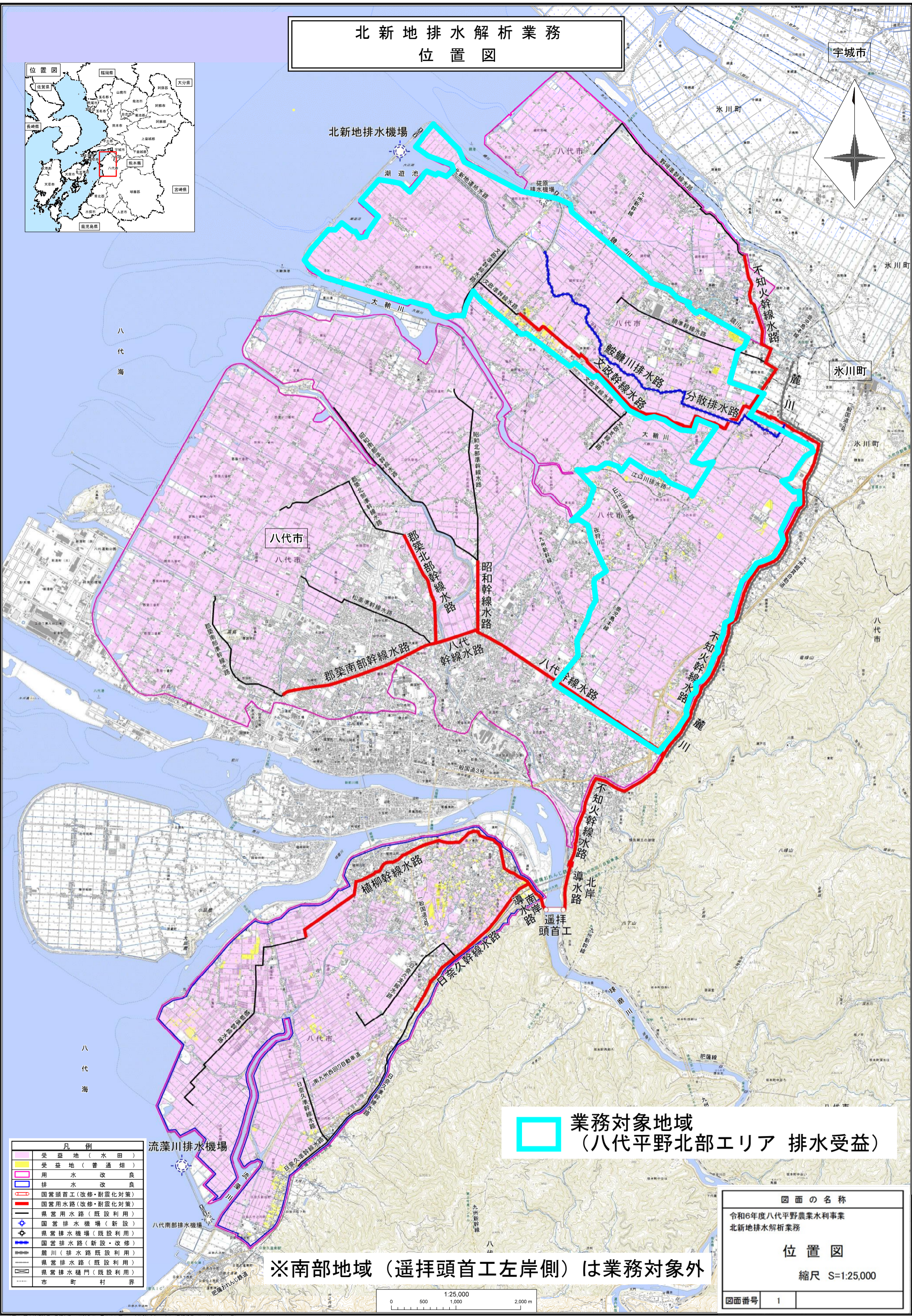
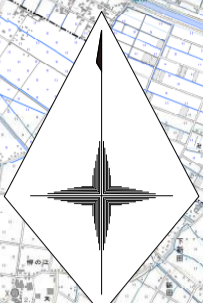
この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別 表

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報 及び法人その他団体に関する情報	1. 記述等により特定の個人を識別することができる情報 ①受注者氏名 ②個人・会社の印影 ③実施設計に必要な各種調査結果の記載された調査員等の氏名 ④打ち合わせ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名 ⑤図面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等 ⑥顔写真 ⑦技術提案等の当該法人の知的財産に関する情報 ⑧概算金額算出のための材料単価等見積もり業者名 ⑨IPアドレス等機器の接続情報 ⑩その他（公にすることにより個人・会社の権利利益を害する恐れのある情報）	行政機関の保有する情報の公開に関する法律 第5条第一号及び第二号イ

作業項目	作業内容	数量	作業実施
1. 準備作業			
1.1 資料の検討	貸与資料を整理し、その内容を把握するとともに、作業計画を樹立する。	1式	○
1.2 現地調査	本業務の実施に必要な現地調査を行う。	1式	○
2. 排水解析モデルの構築			
2.1 流出解析モデルの作成	現時点の地形や土地利用を反映した現況流出解析モデルを作成する。	1式	○
2.2 排水解析モデルの作成	八代平野北部地域における各排水施設の整備後の排水効果を検証するため、排水解析モデルを構築する。  排水解析手法は、「土地改良事業計画設計基準 計画『排水』」に示される「新たな内水氾濫解析モデル」を使用する。  また、構築する排水解析モデルは、次の2点が反映可能なものとする。 ①地区内に設置されている水位計及び流速計のデータによる検証計算が可能であること。 ②排水施設諸元について、今後の工事又は設計状況を反映できること。	1式	○
3. 現況排水解析の実施	構築した排水解析モデルに、事業計画における1/10年確率計画基準値を投入し、現況排水解析を実施する。 また、排水施設の排水状況を整理し、湛水区域図を作成するとともに、湛水発生要因を分析する。	1式	○
4. 水位・流速計データの整理	地区内に設置している水位計及び流速計のデータについて、排水解析モデルの検証に活用できるように整理する。	1式	○
5. 排水関連施設の整備計画検討			
5.1 設計計画	①現況排水解析の結果を踏まえ、管理水位の低下や排水機場の増強が北新地排水路の既設護岸に与える影響について評価を行い、その結果に基づく北新地排水路における護岸整備計画を検討する。  ②過年度業務における海域流況解析の結果及び北新地排水機場工事の実施状況を踏まえ、北新地排水機場の海域部におけるミオ筋の浚渫計画について検討する。  ③北新地排水機場工事の実施状況及び他地区における類似事例を踏まえ、旧北新地排水機場の撤去計画を検討する。	1式	○
5.2 仮設計画・施工計画	仮締切、仮設道路、工程計画等を含む仮設計画について検討を行い、概略の施工計画を作成する。	1式	○
5.3 設計図面・数量計算	一般構造図を作成し、概略数量計算を行う。	1式	○
5.4 概算工事費	主要な数量、事例等による単価で概算工事費を算定する。	1式	○
6. 照査	照査計画に基づき、業務の節目ごとに照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1式	○
7. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1式	○

# 北新地排水解析業務 位置図



**業務対象地域**  
(八代平野北部エリア 排水受益)

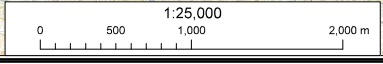
※南部地域 (遥拝頭首工左岸側) は業務対象外

凡例	
<span style="background-color: #e0f0ff; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	受益地 (水田)
<span style="background-color: #ffffe0; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	受益地 (普通畑)
<span style="background-color: #e0ffe0; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	用水改良
<span style="border-bottom: 2px solid blue; width: 10px; display: inline-block;"></span>	排水改良
<span style="border-bottom: 2px solid red; width: 10px; display: inline-block;"></span>	国営頭首工 (改修・耐震化対策)
<span style="border-bottom: 2px solid red; width: 10px; display: inline-block;"></span>	国営用水路 (改修・耐震化対策)
<span style="border-bottom: 2px solid black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	県営用水路 (既設利用)
<span style="border-bottom: 2px dashed black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	国営排水機場 (新設)
<span style="border-bottom: 2px dashed black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	県営排水機場 (既設利用)
<span style="border-bottom: 2px dashed blue; width: 10px; display: inline-block;"></span>	国営排水路 (新設・改修)
<span style="border-bottom: 2px dashed blue; width: 10px; display: inline-block;"></span>	龍川 (排水路既設利用)
<span style="border-bottom: 2px dashed black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	県営排水路 (既設利用)
<span style="border-bottom: 2px dashed black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	県営排水機門 (既設利用)
<span style="border-bottom: 2px dashed black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	市町村界

図面の名称  
令和6年度八代平野農業水利事業  
北新地排水解析業務

位置図  
縮尺 S=1:25,000

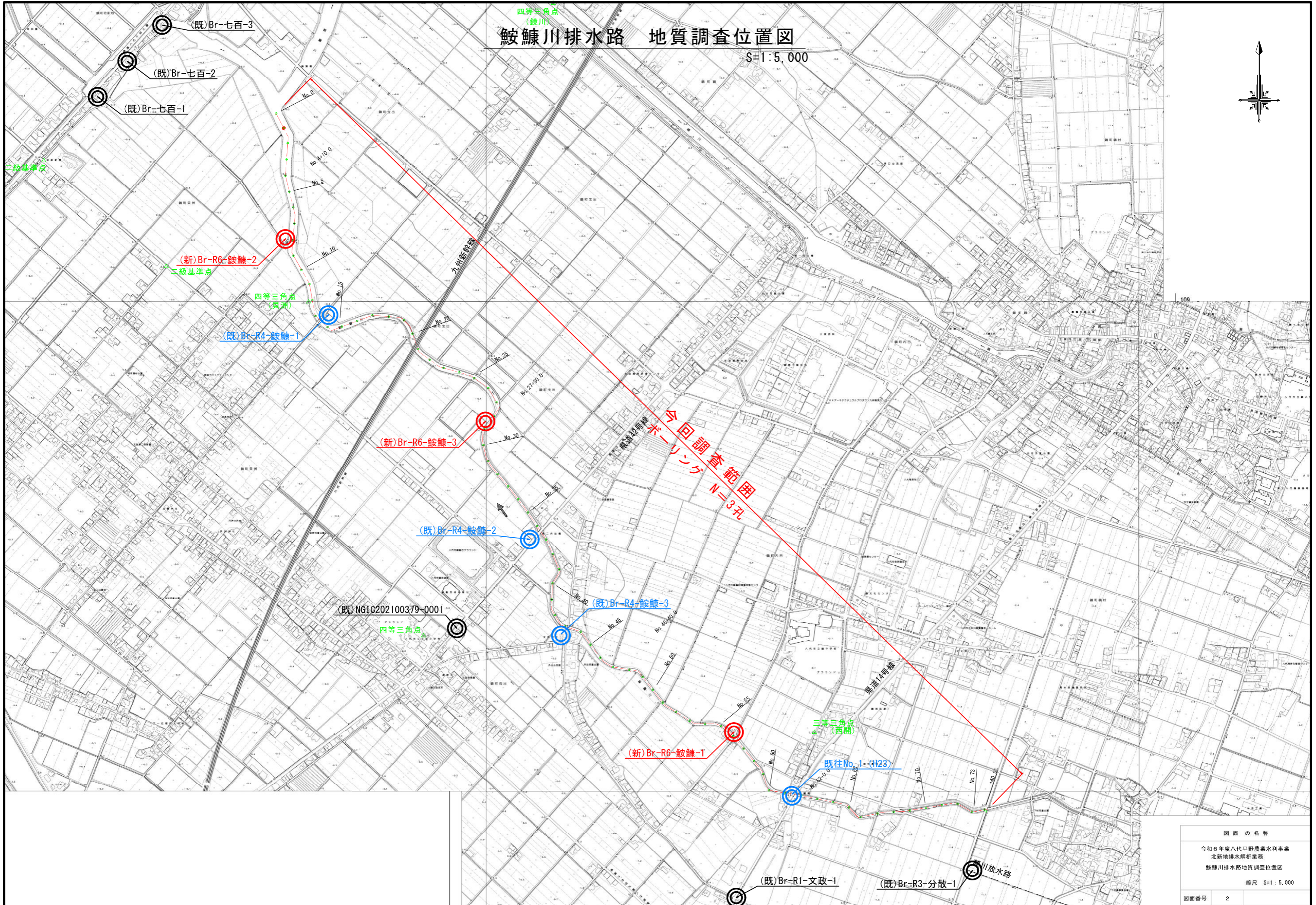
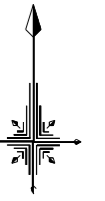
図面番号 1



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平29(情報、第792号))

# 鯨鯨川排水路 地質調査位置図

S=1:5,000



図面の名称	
令和6年度八代平野農業水利事業 北新地排水解析業務 鯨鯨川排水路地質調査位置図	
縮尺 S=1:5,000	
図面番号	2